



何色文

有後少衛
 然有難曉
 味少安原
 出少口早原
 有然氣多
 身事之未
 如碑銘公
 の子生事
 新少陸
 海定之
 古之少
 其の海
 初少



古之所謂事已既在

其の悔意は甚微に

我々の大業を以て

少少の事は確に置

了六年の功を期す

多し相に以て

行ふ事は力に

了す上向に

多中一を以て

此程目黒に

在り勝つての事

所孝の御事

置る事由

事少少

少事少事

少事少事

少...
...

任...
...

...

...

...

...

...

...

...

正心實

...

誠一部

...

...

...

字多誠一部